

錦秋の秋、起震車体験、ふれあい学習会

今年は、週末に台風が接近することが多く、運動会や社会見学旅行の実施に大きく影響を及ぼすことがありました。先般の台風19号の接近・上陸に伴い、東日本において甚大な被害が発生しました。心よりお見舞い申し上げ、早期の復旧・復興がなされることを願っています。学校では、運動会や合同体育祭の体育的行事を終え、現在は、各学年で書写や図工などの芸術作品作りに取り組んでいます。

10月9日(水)に地震を想定した避難訓練を行いました。この訓練には、日野消防署より5名、防災士3名の計8人の方が参加してくださって行いました。子ども達の避難の様子を、講評いただきました。その後、起震車で実際の震



度度7がどのようなものであるかを4年生以上の子ども達が体験しました。東日本大震災の揺れを体験した子ども達は、揺れの激しさに大変怖い思いを抱きました。地震や台風など災害が各地で起こっており、私たちが住むところもいつそのような場面に合うかわかりません。寺田寅彦の「災害は忘れたころにやってくる」ではなく、現在は、「災害はいつもやってくる」と心して備えていきたいものです。

10月16日(水)には、PTAによる「ふれあい学習会」が開催されました。「子ども・本・文化を考える会」よりお二人の講師の方をお招きし、上学年と下学年に分かれて「読み聞かせ」をしていただきました。ろうそくの灯りがともされると、場内はお話の世界へと入り、親も子



も引き込まれていきました。『ふしがなたいこ』、『さんまいのふだこ』、『えぼみなんだす』などのお話や数え歌も紹介してくださり、心穏やかな時間を過ごしました。本は子ども達の心を豊かにします。また、読み解く力を育てる一助にもなります。豊かな情操を育むために、子ども達に活字と挿絵の鮮やかな世界に浸らせ、本に囲まれた世界を具現していきたいものです。

リサイクル活動、ありがとうございました

10月19日(土)に行われましたPTAのリサイクル活動に、早朝より回収・搬入の作業に多くの保護者・地域の皆様にご協力いただきました。

次から次へと搬入されてくる膨大な新聞紙や週刊誌、段ボール、アルミ缶等に汗をかきながら、コンテナに積み込をしました。また、当日の朝、広報車で街宣しているとき、家の軒先に新聞紙やアルミ缶が置かれているのを見て、地域の皆様のご協力を目の当たりにし、地域に支えられていることを実感しました。



このようにして、地域の方々の尊いご協力を得て、私たちの教育活動やPTA活動が成り立っていることに深く感謝しています。

この事業で得ました浄財を大切に使用させていただくとともに、今後とも本校ならびにPTA活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



<文責：校長 正野新造>